

留学同埼玉活動報告

2008歴史・人権週間

活動の目的

- 関東大震災85周年に際して朝鮮人虐殺の歴史を今一度見直す必要性。
- 現在の(朝鮮人蔑視)、(排他主義)と朝鮮人虐殺の共通性。
- 私たち若い世代が歴史を風化させずこの問題に取り組んでいく使命。

...そこで

- 年間を通じて(関東大震災朝鮮人虐殺問題)に取り組むために4月に(関東大震災朝鮮人虐殺研究サークル)を立ち上げる。

学習会

写真展

行政に対する要請活動

論文作成

の4つの活動を行なっていくことを計画

学習会

- 歴史的経緯を把握するためのDVD学習
- 埼玉県下での事件の把握など5回以上の学習会を行いました。
- 総連埼玉県本部と合同でフィールドワークも行ないました



写真展

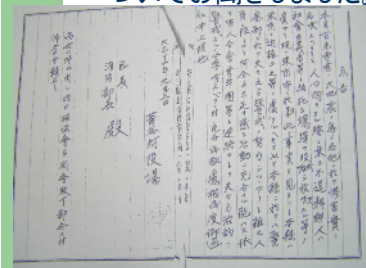
- 朝鮮人虐殺問題をより多くの人に知ってもらう必要性。
- 7月31日～8月3日にかけて熊谷で写真展を開催。熊谷は県内で2番目に被害の多かった地域。



新たな資料の発見

- 春日部で「粕壁小学校」の関東大震災時の作文があるとの情報を入手。7月11日に調査活動を行う。「お父さんが不逞鮮人を成敗するために軍刀を持って行った」「不逞鮮人が爆弾をなげた」など生々しい表現が。

- 埼玉県嵐山町で新たに《急告》が発見されたとの情報を聞き、石田貞先生との座談会での価値についてお聞きしました。



全国集会での採択文朗読

- 若い世代がこの問題を先頭に立って取り組むことを決意し、全国集会で採択文を朗読しました。



行政に対する要請活動

- 学習会で埼玉県内の慰霊事業のなかで、本庄市にあった慰霊碑「鮮人の碑」が群馬の山中に放置され、それを30年ほど前に石田貞先生が本庄市に掛け合い、市に引き取らせた問題を取り上げる。
- 85年を契機に、実際虐殺が起きた場所である本庄市旧警察署(現歴史民族資料館)に展示する要請を行なうことを決め、7月には本庄市福祉課に要請を行ないました。今後、サークルメンバーを中心に本庄市教育課に対する要請活動を行なっていく予定。



論文作成

- これらの内容を論文にまとめ、12月に行なわれる「コリアン学生学術文化フェスティバル」で発表予定。



最後に

- 改めてこの問題の重要性、風化させてはいけない歴史だということを再認識しました。
- また、この歴史を生きている歴史として若い世代の私たちが伝えていきたいと思えます。
- 引き続き(関東大震災朝鮮人虐殺研究サークル)ではこの問題に取り組んでいきます。